

日本のふるさと 遠野まつりの変遷

9月第3土曜・日曜日の両日、遠野郷八幡宮例祭と合同開催されている遠野まつりの主な歴史を紹介します。

1968 ● 昭和43年
遠野まつりの発端となる「郷土芸能祭」が鍋倉公園で開催される



同芸能祭は明治百年記念行事として開かれ、定着を望む声が多かったとされています。翌年から「とおの夏まつり」とし、8月初めの4日間、商店街の七夕祭りや遠野公民館の商工振興展とともに鍋倉公園で「郷土芸能まつり」が行われました。

◀写真_昭和45年頃の様子

1972 ● 昭和47年
「岩手のふるさとまつり」として「日本のふるさと遠野まつり」初開催

遠野まつりの1回目にあたる祭りが市街地会場を取り入れ、郷土芸能パレードなど現在のスタイルで開催されました。

昭和47年のポスター▶



1973 ● 昭和48年
遠野まつりを遠野郷八幡宮例祭にあわせて開催するようになる

2001 ● 平成13年
9月の祝日が変わり、遠野郷八幡宮例祭と遠野まつりの開催日が一致しない状況が生まれる

「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」いわゆるハッピーマンデー制度が成立し、9月15日「敬老の日」の祝日が月曜日になったことが要因。

2009 ● 平成21年～同25年
連休2日間ともに、遠野まつりを市街地で開催

2014 ● 平成26年
遠野郷八幡宮例祭と遠野まつりの合同開催が復活する



【合同開催時の内容】

9月第3土曜日_市街地での郷土芸能パレード、八幡宮神輿渡御、しし踊り大群舞、郷土芸能共演会、神楽共演会 日曜日_八幡宮での遠野南部流鍋馬、郷土芸能の馬場めぐり、神楽殿での神楽共演会

◀写真_平成26年の馬場めぐりの様子

2020 ● 令和2年、同3年
新型コロナの影響で遠野まつり中止
遠野郷八幡宮の例祭は縮小開催

遠野まつり50周年周知ポスター▶



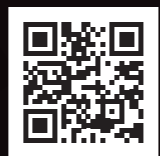
2022 ● 令和4年
遠野まつり50周年

※掲載内容は、遠野学叢書No.2『遠野の郷土芸能』(遠野文化研究センター発行)をもとに編集

新コーナー
No.1
10月まで連載

遠野まつり 50th

「日本のふるさと遠野まつり」(同実行委員会主催)は今年、50周年の節目を迎えます。今月は、遠野まつりの歴史を振り返ります。



こちらもぜひご覧ください
遠野まつり公式サイト



『きつね』 絵: 樋口佳絵



『ばけもの』 絵: 飯野和好



市民ご招待

期間中、この広報を持参で
2人まで無料でご覧いただけます

■ 遠野市立博物館 企画展示室

■ 9時～17時 (入館は16:30まで)

協力 汐文社

遠野市立博物館
TONO MUNICIPAL MUSEUM

岩手県遠野市東館町3-9 遠野市立博物館
TEL: 0198-62-2340 FAX: 0198-62-5758

京極夏彦の えほん 遠野物語 第3期 原画展

2022

4/22▶5/22



『しびと』 絵: 阿部海大



『おまく』 絵: 羽尻利門

とじ込みチラシ